

## 「笹森さんになってガイドをしよう」

## Reading

単元	PROGRAM 7 The Wonderful Ocean (SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 開隆堂)
目標	登場人物になりきり、ジェスチャーや声の大きさに工夫をしてガイド文が読める。
形態	3人または4人グループ
時間	25人学級で30分（8グループ×3分）
準備物	ホワイトボード、短冊シート、ワークシート、シャチ型ピックアップカード、マイク

## 1 単元構成

読みのプロセスを踏まえた発問構成を行います。単元ゴールと評価規準を設定し、逆向きで単元づくりを行います。本時の評価規準は「登場人物の気持ちや立ち位置を推測し、ジェスチャーや声の調子を工夫して音読する」です。読みの指導におけるそれぞれの言語活動が目標に到達するように、発問計画を立てます。

また、ある程度の長さの英文を読み、本文の異なる情報を関連付けながら読みを進めることができるように、文法などの言語材料は語いや文法などの言語材料は、読みの指導に入る前に行います。未知の語句や表現は生徒の思考の妨げとならないよう、丁寧に指導します。

## 2 目標到達に向けての手立て

## (1) 帯活動

帯活動としてペアでのスピーキング活動を行います。使用する定例文を与え、**target sentence**を用いて英語で質問したり応答したりします。あいさつや反応を入れるように指導します。

## (2) ワークシート

教科書は閉じたまま授業を進めるため、左側に本文を掲載します。発問をしながら、生徒は読み取った情報をまとめます。

## (3) Teacher Talk

教科書に記載されている挿絵や補足説明、登場人物に関する追加情報等をできるだけ英語で紹介します。Teacher talkの内容をガイド文に生かすことができます。

## (4) 視覚的補助 (visual aids)

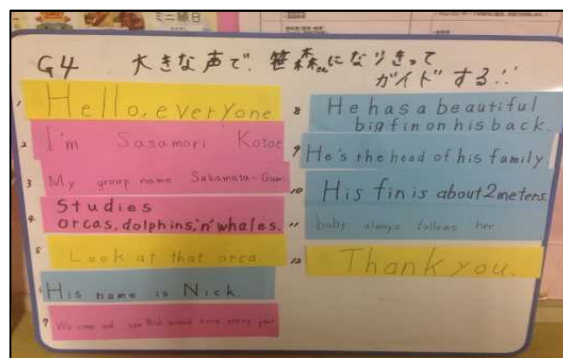
シャチ型の **picture cards** やシャチ型浮袋を準備します。水色の広用紙だけでも海を想起させることができます。

## (5) 学習形態の工夫

ペアワークやグループワークでの活動を行い、助け合いながらすべての生徒が主体的に活動に参加するよう促します。

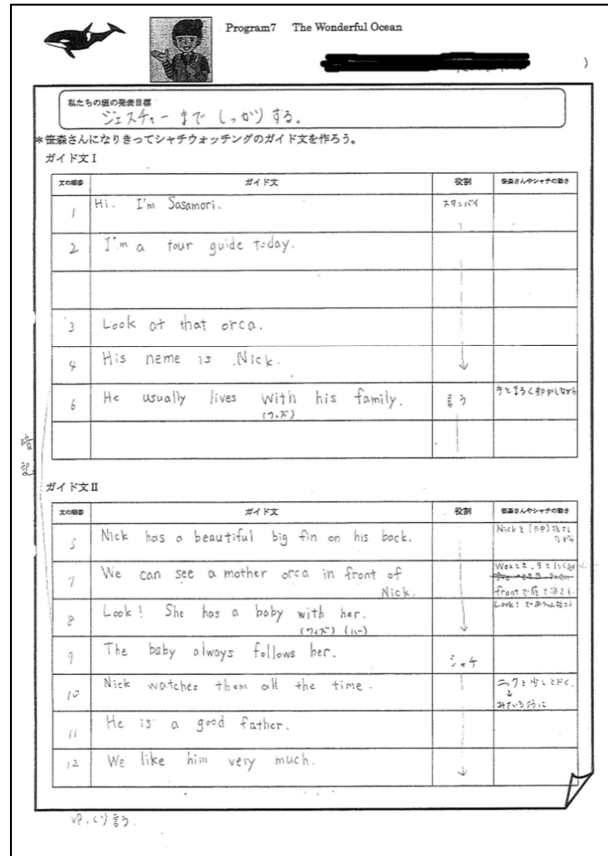
## (6) その他

各グループに小さいホワイトボードと磁石付きの短冊（資料1）を用意します。短冊にはガイド文の原稿となる英文を書きます。グループで話し合い、どの情報を、どの順番で話すかなどを決めます。短冊は移動可能なので、削除したり追加したりできます。磁石を付けてボードに貼ることで保管もできます。



資料1 ホワイトボード上の原稿

完成したガイド文は、各自ワークシート（資料2）に書き写し、グループ発表に向けての練習時に活用します。役割分担やガイド文を読む際の留意点なども書き込みます。



資料2 ワークシート上の原稿

3 発表までの手順

3人または4人のグループで発表させます。誰がどの部分を読むか、どのようなジェスチャーをするか、どのように読むか（間や声の大きさ）などは自分たちで決めさせます。ボードを海に見立て、シャチの動きや位置関係を表現する工夫も考えさせます。各自練習できるように、各自ガイド文原稿用のワークシートを作成させます。

**笹森さんなりきりコンテスト準備手順**

1. ガイド文作成
- ↓
2. 推敲（文の順番など考える）
- ↓
3. 発表方法（ジェスチャー、シャチの動き）
- ↓
4. 役割分担
- ↓
5. 練習（発表目標を意識）

資料3 活動の手順

4 評価の観点及び判断するめやす（判定基準）

判断するめやす（判定基準）は生徒に提示します。各グループで目標を設定し、協力して発表するように指導します。「読み」の領域で表現の能力を評価するので、暗唱は要求しません。判定基準は、発表時にも電子黒板に写して意識させます。

**笹森さん なりきりコンテスト**

観点	評価	判断するめやす（判定基準）
関心・意欲・態度	A	・ジェスチャー等を適切に用いている。 ・聞き手とアイコンタクトを取りながら話している。
	B	・ジェスチャー等を時々用いている。 ・原稿を時々見ながら、顔を上げて話している。
	C	・原稿を読みながら話している。
表現	A	・視覚的補助を効果的に利用しながら、多くの情報がガイドができる。 ・適切に間をとったり、音量を考えたりしている。
	B	・視覚的補助を時々利用して教科書にそった内容でガイドができる。 ・間をとったり、音量を考えたりしている。
	C	・視覚的補助を利用しながら、短い英文でガイドができる。

資料4 評価の観点及び判断するめやす（判定基準）



## PROGRAM 7 The Wonderful Ocean

ガイド文ワークシート

1年（ ）組 名前（ ）

私たちの班の発表目標

\* 笹森さんになりきってシャチウォッチングのガイド文を作ろう。

ガイド文 I

文の順番	ガイド文	役割	笹森さんやシャチの動き

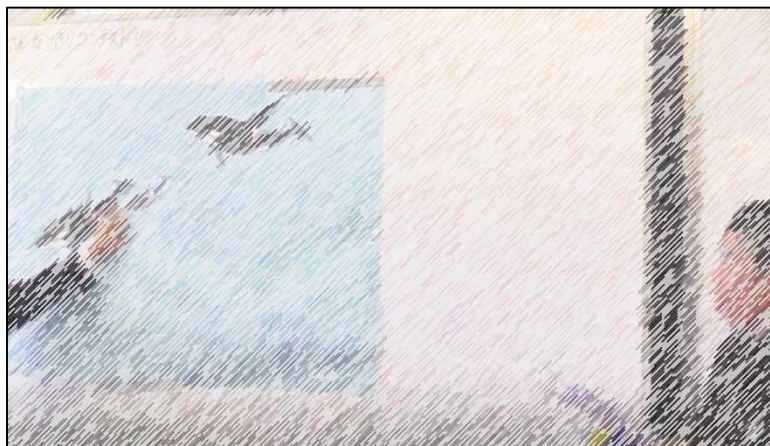
ガイド文 II

文の順番	ガイド文	役割	笹森さんやシャチの動き

## 5 パフォーマンス事例

## (1) 事例①

Aグループによる「なりきりガイド」	考 察
<p>(自分の胸に手をあてながら) My name is Sasamori Kotoe. I study orcas, dolphins, and whales. (海に見立てたホワイトボードに Nick が登場する。海を指さして) Look at that orca. His name is Nick. His fin is about 2 meters. (両手で大きさを表す) He is the head of his family. Orcas usually live together. He has a beautiful big fin on his back. (母親シャチが海に登場する) That is a mother orca. (大きな声で) Look!! (赤ちゃんシャチが登場する) She has a baby with her. The baby always follows her. Nick always watches them. Thank you for listening.</p>	<p>自己紹介や挨拶を取り入れた自然なガイド文を作成しました。帯活動による指導の効果が表れていたと考えられます。ジェスチャーを効果的に取り入れ、間の取り方や声の大きさを工夫していました。教科書本文の表現を用いてガイド文を完成させていましたが、Nick のヒレが2メートルである情報は、Teacher Talk より引用していました。follow や watch の語意を正確に理解し、ガイドに合わせてシャチを適切に配置していました。</p>

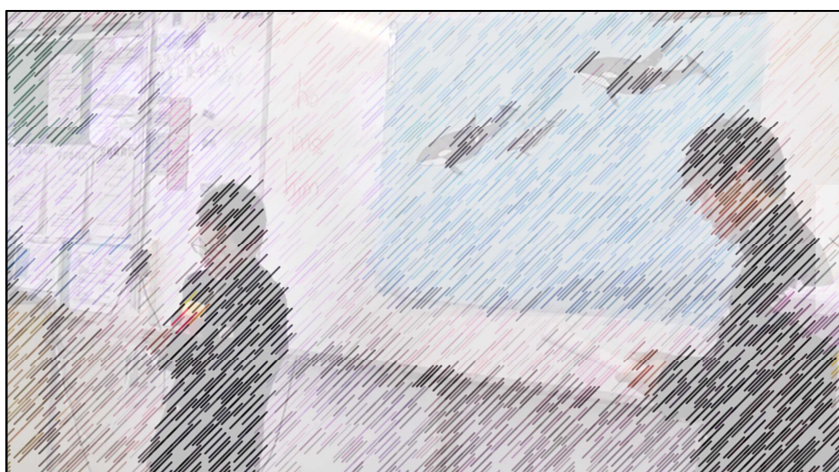
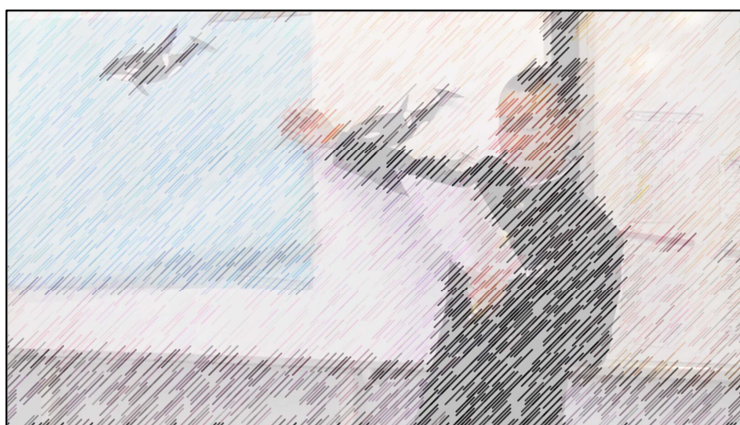


クリックすると、映像が流れます。

※個人情報保護のため、データを加工しています。

## (2) 事例②

Bグループによる「なりきりガイド」	考 察
<p>Hello, everyone. My name is Sasamori Kotoe. Nice to meet you. I study orcas, dolphins, and whales. I have a question. (問を取る。Nickが登場し、指さしながら) Look at that orca. His name is Nick. What does his name come from? He has a nick on his fin. He has a beautiful big fin on his back. We like him very much. He is the head of his family. (英文に合わせてシャチの絵を配置する) That is a mother orca. Look. She has a baby with her. The baby always follows her. Nick watches them all the time.</p> <p>(生徒の英語のまま記載しています。)</p>	<p>あいさつ、自己紹介を取り入れた自然な導入でガイドを始めていました。帯活動による指導の効果が表れていたと考えます。Nickという名前がヒレのnick(欠目)に由来するという情報は、本文には明記されていませんでした。読みの指導におけるTeacher Talkから引用し、outputに活用していました。また、聞き手にその由来を問い掛ける工夫を行っていました。絵を正しく配置してシャチの位置関係を示していました。followやwatchの語意を正確に理解していることが分かりました。</p>



クリックすると、映像が流れます。

※個人情報保護のため、データを加工しています。